

平成29年度 社会福祉法人 藤枝すみれ会 4事業所事業報告

理念	基本方針	実施事業所	平成29年度重点施策	平成29年度重点施策の評価と課題	目標数値			
藤枝すみれ会は誰もが生き生きと心豊かに暮らせる社会を目指します	地域社会で築く「自立」と「共生」	利用者ニーズに応じたサービスの提供	東部すみれの家 生活介護 (定員20名) 平成29年度利用者(H30.3.31現在) 男:11、女:11 計22	<ul style="list-style-type: none"> ●心身の健康の保持増進をめざし、“心身を整える”ためのサービス内容の充実を図る。 ●一人ひとりの自己表現を大切に創作・生産活動を推進すると共に、作品や製品を紹介できる機会の拡大に努める。 ●安全で安心な環境の確保に努める。 ●休日を有意義に過ごす支援を模索し、土曜日開所を試行 	○毎日の嚥下運動・ダンス。1回/月体操教室を実施。可動幅を広げ、体幹を整えた。生活の流れの中で発表したり、関節を動かす習慣をつけている。音楽を流し、植物、生き物を展示し、心身を整える環境づくりをした。仲間と学び合う機会を作っている。 ○季節毎の創作活動実施。陶芸、パズル作り、紙水族館作り、魚釣りゲーム。玄関に掲示。絵や文字をメモ帳にし、授産コンクールへ出す。(県知事賞)社会に対し啓発品を作った。複数の作業を組み入れたスケジュールを組み集中して仕事ができる環境を作った。 ○車椅子を含め、移動介助において安全な動線を確保設した。トイレ介助時は活動の流れにタイムラグを設けプライバシーを守り、トイレができるように工夫した。 ○6回/年実施。海風、神社、電車、調理などを取り入れ余暇活動の推進を図った。土曜日に開いている地域サロンへ出向く機会を来年度は取り入れる。	稼働率 29年度目標 29年度実績 93.0% 91.1%		
			西部すみれの家 就労移行 (定員10名) 平成29年度利用者(H30.3.31現在) 男:4、女:2 計7	<ul style="list-style-type: none"> ●施設外就労を毎日行う作業訓練内容として位置づけ、社会性・働く意欲を高める。 ●就職者の定着を図るためのアフターケアを計画的に進め、信頼性を高める。 	○H27・28年度に就職した利用者さんの離職はなく、今後も定着が継続できるように定期的、または迅速な対応をし定着支援を行っていく。 ○施設外就労は定着し、働く意欲又は忍耐力等高めることができている。今後も継続的に行っていく。H29年度実習等実施したが、就労には至らなかった。 ○関係機関と連携を取りながら、就労移行の良さをアピールし定員を満たしていくことが課題である。	稼働率(施設外就労) 29年度目標 29年度実績 90.0% 80.0%		
			就労B (定員15名) 平成29年度利用者(H30.3.31現在) 男:10、女:10 計20	<ul style="list-style-type: none"> ●一人ひとりのできる力を引き出しながら、適材適所の作業分担で生産性を高め、工賃アップを目指す。 ●自主製品、焼き菓子の新商品開発・地域とのつながりを大切に、販路先の開発に努め、売り上げを図る。 	○積極的な実習生の受け入れを通し4名増員。年度中の増員を含め20名となる。 ○作業工程に工夫をし、一人ひとりが出来る力を引き出したことで自信につながった。全体の収入は伸びているが支援学校からの新卒4名が環境、作業に慣れる時間が必要となり、目標工賃は下がる結果となった。作業スピード・正確性が上がっているため、工夫しながら継続して作業のできる環境づくりに努めていく。 ○自主製品は商品を覚えて購入して下さる消費者が増加している。新商品販売も含め、販路先開拓には常に努めていく。	目標工賃達成 29年度目標 29年度実績 16,000円 13,932円		
			南部すみれの家 生活介護 (定員25名) 平成29年度利用者(H30.3.31現在) 男:17、女:4 計21	<ul style="list-style-type: none"> ●日々の体調管理を行い健康維持に努め、身体能力の維持向上の為に体を動かす機会を増やしていく。 ●個人に合わせた対応を重視し、積極的にグループ別の活動を取り入れる。 ●園芸活動で育てた花の苗をボランティアにプレゼントしたり、地域の美化に活用し、喜びにつなげていく。 ●日中一時支援事業を継続して実施していく。 	○毎朝の散歩・体操、ストレッチを通して身体能力の維持向上に努めた。利用者の様子に気を配り日々の体調管理を行った。薬に関することは看護師、医師の助言を受けた。 ○利用者の特性や能力に合わせたグループに分かれ作業や活動を行った。パーテーションや治具を使用し本人のペースを大事にしながら出来る力を伸ばしていった。 ○日ごろからお世話になっているボランティアの方に種から育てた花苗をプレゼントしお礼の気持ちも伝えた。美化活動;花のプランター作り・歩道沿いに朝顔のグリーンカーテン作り。 ○16:00~18:00の間、希望者に対して日中一時支援の延長サービスを提供。保護者の介護負担軽減に努めた。	稼働率 29年度目標 29年度実績 96.0% 95.0%		
			就労B (定員15名) 平成29年度利用者(H30.3.31現在) 男:13、女:6 計19	<ul style="list-style-type: none"> ●個人に合わせた環境やスケジュール・治具を準備し一人ひとりの力を生かすことで作業意欲の向上を図る。 ●プランター販売のアフターフォローに力を入れ、活躍の場を増やし、生きがいとなるような機会を提供していく。 ●雑巾作りなどのミシン活動を取り入れ、活動の幅を広げる。 	○企業下請け作業は特性に合わせた環境を作り、集中して作業が続けられるようになった。個人に合わせた治具を利用したことで挑戦する機会を設け、意欲の向上、自信につながった。NEXCO中日本の草刈り作業を請け負い、関わった利用者は大きな工賃アップになった。 ○プランター販売では、販売増加に伴い、アフターフォローの回数が増え、すみれ以外の場所で力を発揮し、活躍することができた。 ○ミシン活動は、作業の合間に行った。民生委員へのお礼、近所の方々への挨拶として雑巾作りを行った。作業以外にも出来ることを見つけられた機会となった。	目標工賃達成 29年度目標 29年度実績 5,855円 6,335円		
			北部すみれの家 生活介護 (定員25名) 平成29年度利用者(H30.3.31現在) 男:11、女:8 計19	<ul style="list-style-type: none"> ●散歩や運動を通して健康状態や身体機能の維持向上に努める。 ●一人ひとりの特性を生かし、ニーズに応じた生産活動や創作活動を提供し、日中活動の充実を図る。 ●送迎サービスの実施を増やし、利用者のニーズに応じられるようにする。 	○散歩・体操・ダンスを取り入れ継続することで健康・身体能力の維持に努めた。2回/月スポーツ教室では、夏;持久力と筋力強化の運動 冬;柔軟運動の強化等季節に合わせた運動を実施。ダンスの時間を設けたり、公園でサッカーを仲間とし、楽しみながら体を動かした。年齢が高くなると共に健康面に配慮し、体力維持に努める。 ○個人に合わせた「生産活動」「ミシン」「レジン作り」「手芸・刺し子」「日記」「パズル」等に取り組む。自主製品に取り組む利用者が増加している。 ○毎日実施。9名の利用者の送迎を行う。天候状態による他利用者への対応有。	稼働率 29年度目標 29年度実績 88.0% 80.0%		
			就労B (定員15名) 平成29年度利用者(H30.3.31現在) 男:7、女:5 計12	<ul style="list-style-type: none"> ●適材適所の作業分担で生産性の向上を図ると共に、利用者一人ひとりの作業の幅を広げるよう支援する。 ●健康管理の自己管理や運動の励行を促し、働く力の基礎となる体力の維持向上を図る。 	○適材適所で作業を行いながら、治具を使用。新たな作業へのチャレンジを提供。作業の幅が広がり自信につながった。ステンシル・ミシン訓練により自信につながった。 ○毎朝の散歩・体力作りの体操教室やランポウォークによる、体力向上・維持。年齢と共に進む成人病の心配も見られている。今後も健康面に配慮し、健康維持、体力の維持・向上を図っていく。	目標工賃達成 29年度目標 29年度実績 7,938円 8,483円		
			互いに認め合い、支え合うネットワークの創造	利用者の頑張りや輝きを広く地域社会に発信				